

真夏のアメリカシロヒトリの防除対策について

平成 30 年 8 月
JA 中野市園芸課

1. 防除時期

- ・ 老齢幼虫になると発生密度が高くなり、葉を暴食するので薬剤による防除は困難になる。
- ・ 孵化直後の幼虫は巣網を張って群生し、葉脈を残して葉を食べるため、被害葉は透けてみえる。次第に巣網は大きくなり、目につきやすくなり、その後、幼虫は分散する。
- ・ 第 2～3 世代幼虫 ⇒ 7 月中下旬 ～ 9 月上旬頃発生

2. 薬剤防除について（下記の薬剤は全て JA で取り扱っています）

時期	薬剤名	倍率	適用
7 月中下旬 ～ 9 月上旬	バイスロイドEW（合成ピレ） *劇物	2,000	果樹
	アディオフロアブル（合成ピレ）	1,500	果樹
	アーデントフロアブル（合成ピレ）	2,000	果樹
	アーデント水和剤（合成ピレ）	1,500	果樹・野菜
	イカズチWDG（合成ピレ） *劇物	1,500	果樹
	トレボン乳剤（合成ピレ） *おすすめ！	1,000	野菜・樹木類

◆ 注意事項

- ① 多発時（盛夏期）は薬剤効果が著しく低下するので、その場合は速効的にかつ残効が長い合成ピレスロイド剤を使用してください。
- ② 定期散布や特別散布を実施する場合は、年間の使用回数制限に注意してください。
- ③ 各農薬使用の際は、ラベル等をよく確認し、使用規制・回数等を遵守してください。